

# 止め原一ケース

2006年5月

連絡先・不老町 山崎隆敏方 0778(42)3630  
e-mail:ozizu3630@p.tn.ne.jp http://www3.tn.ne.jp/~ozizu3630/  
(山崎隆敏とヤフーで検索しても出ます)

5月13日、長沢啓行教授の講

演会を開催いたします。先の志

賀原発の運転差し止め判決の意

義と合わせて、たとえば、原子

力安全委員会の改定案を報道し

たマスコミ各社は「耐震指針を

強化」「未知断層の最大地震を

想定」などと書いたので、市民

は何だか厳しい指針が出て安全

が強化されるような錯覚をさせ

られてしまっています。日本

の原発は本当にこれで大丈夫な

のでしょうか。そのあたりのご

とを分かりやすく話してもらい

ます。

以下は、長沢さんの「新指針批判」の小見出しだけを抜き出したものです。

新しい「耐震設計審査指針」は、「自然の摂理」に耐えられるか? (素案)

## 1. 事務局の手で強引にまとめられた新指針

ワーキンググループでは議論がまとまらず、2005年以降、事務局主導でとりまとめに入

る。2005年前半7回、月1回のペースから後半には13回、月2回のハイペースになり、今年も4ヶ月で9回のハイペースで最終案をとりまとめた。

評価の対象とする活断層の時代区分、基準地震動の策定法、確率論的安全評価による「残余のリスク」等に議論が偏り、現行指針で批判されてきた大崎の方法など耐震設計の方法そのものに関する見直しの議論はナシ

## 2. 志賀判決で対応を迫られた原子力安全委員会

金沢地裁は、直下地震の過小評価、活断層帯の過小評価、大崎の方法など耐震設計の欠陥を指摘し、「安全審査に合格しているからといって、本件原子炉の耐震設計に妥当性に欠けるところがないとは即断できない。」

と断じ、「志賀原子力発電所2号原子炉を運転してはならない。」との判決を下した。

原子力安全委員会はこれを受け、急ピッチで進めていた耐震設計審査指針の改定を計画通り押し進め、とりまとめに入った。本来であれば、判決で指摘された点について、原子力安全委員会として釈明し、指針改定に反映させるべきところであるにもかかわらず、事務局による強引なとりまとめが正当化されるかのように振る舞い、問題点を残しながら、4月28日、「改訂案」をとりまとめた。

## 3. 新しい指針案の問題点

(1) 原発にとっても最も危険な直下地震が依然として過小評価されている

(2)活断層として考慮すべき活動対象期間は伸びたが、活断層帯の過小評価は変わらず

(3)耐震重要度のAsクラスとAクラスが耐震重要度 に統合されたが、耐震設計が強化されたわけではない

(4)応答スペクトル(大崎の方法)と断層モデルの双方で地震動評価を行うが、過小評価の問題点はそのまま

(5)基準地震動Ssを超える地震の発生、それによる原発重大事故の危険を「残余のリスク」で容認した

## チェルノブイリ20周年

### 交流集会の報告

4月25日のチェルノブイリ

原発事故20周年・ペラルーシの二人の女性を囲んでの交流集会

は、主催者とマスコミを除き約50名の参加がありました。平日にもかかわらず、予想以上に多くの参加がありました。阪神地震直後に催した講演会(私自身が講師となった)以来の大盛況となり喜んでいきます。また、翌

日の新聞には各社が記事を書いてくれたので、多くの県民の目にとまることとなり、大きな

成果が得られたと思います。ご協力ありがとうございました。

例えば20年前、丸木夫妻の「原爆の図」展の開催に向け準備をしている時期でしたが、チェルノブイリ事故の速報を聞いたとき、この世の終わりを告げられたような絶望的な気持ちにさせられたものです。それから一週間後、日本にもセシウムなどの放射性物質が降り注ぎ、幼い子供たちに食べさせようと裁

培っていたイチゴ(その他の野菜も)が台無しになり、気が滅入ったことを思い出します。その時に私が抱いたよりもさらに深い絶望をかかえたまま20年間を過ごしてこられた被災地の人々の苦悩を思うと胸ふさがれるばかりです。

お二人の女性は、一週間の関西滞在のあと元気に帰国されました。ホテルと講演会場との往復、ほとんどを都会の喧騒の中で過ごされたので、福井では日本の田舎の暮らしと風景をもっと楽しんでもらいたかったのですが、かないませんでした。それが心残りです。遠い彼の地で、希望を見失いがちな子供たちのために自分の生涯をささげることになるだろう彼女たちに心から声援を送りたいと思います。

## 地震と原発講演会

5月13日(土)午後1時と7時から

女川原発を襲う可能性が高まる宮城県沖地震について仙台市で講演された長沢教授を、NHKがクローズアップ現代で取り上げる話もありましたが、残念ながら実現しませんでした。

講師：長沢啓行さん(大阪府立大学大学院教授)

会場：生涯学習センター(旧今立町定友・岡本小運動場の南側) 入場料300円

市議会の選挙が7月2日告示されます。準備に追われる毎日なのですが、地震と原発の問題は切迫していることもあり最優先しました。3万のチラシを新聞折り込み、700通を郵送したので、収支はマイナスです。議員報酬からまかれましたので会計報告はしないでおきます。